



こんどう きよし 近藤 聖 議員

問 病院周辺の冬季安全対策は

答 新庁舎に相応しい環境整えたい

議員 児童・生徒への精神的な影響と対応を伺う。
町長 児童・生徒及び保護者等にアンケートを実施して情報収集を行ない、必要に応じてスクールカウンセラーを派遣できる準備を整えている。現時点で大きな影響や対応が

議員 新型コロナ感染拡大の中小学校への影響について。
議員 町内小中学校での教育活動への影響を伺う。
町長 1月下旬から2月にかけて町内小中学校では、1校でクラスターが、ほか数校でも感染者が発生した。そのため家庭内感染による拡大が懸念されるため、1週間程度の休校措置を講じた。

各小中学校では、年度当初、感染拡大を想定して年間授業日数を多めに設定しており、法定授業時数は確保される見通しである。
議員 感染者や関係者への差別・偏見や誹謗中傷が許されない。差別や中傷が起こらないよう、文部科学省のコロナ対応マニュアルののっとりて学校に依頼した。学校によりで地域住民にも呼びかけが伝わり、適切な対応と指導だったと捉えている。

議員 オンライン授業の
議員 当該校の「偏見や差別をしないように」という学校だよりの所感を伺う。
教育長 感染者や関係者への差別・偏見や誹謗中傷は許されない。差別や中傷が起こらないよう、文部科学省のコロナ対応マニュアルののっとりて学校に依頼した。学校によりで地域住民にも呼びかけが伝わり、適切な対応と指導だったと捉えている。

必要な事例は見られない。
議員 当該校の「偏見や差別をしないように」という学校だよりの所感を伺う。
教育長 感染者や関係者への差別・偏見や誹謗中傷は許されない。差別や中傷が起こらないよう、文部科学省のコロナ対応マニュアルののっとりて学校に依頼した。学校によりで地域住民にも呼びかけが伝わり、適切な対応と指導だったと捉えている。



病院付近駐車場の路面状況

議員 実施体制の現状は。
教育次長 休校期間が短く、オンライン授業は実施しなかった。家庭でのオンライン環境は88軒が整備され、実態に応じて実施できる状況である。
議員 葛巻病院周辺の町道などの凍結や落雪への事故防止対策は。
町長 町内全域で路面凍結箇所の事故防止対策に努めてきた。指摘された道路でも、融雪剤の散布

併せて「交通結節点」の移行・充実について、民間バス事業者をはじめ、関係機関と調整を図っていく。
議員 待ちスペースの充実、天候の急変や寒い時期では重要と考える。負担軽減についての考えを伺う。
町長 現在の中心市街地に不足している駐車場や駐輪スペースの確保のほか、バス運行時間と連動した待合スペースの確保を含め、くずまき型DMO事業で推進する「歩きまわりたくなる『まちなか』」の起点終点としての機能、あるいは、まちなかのにぎわい創出など、町の最重要課題である人口減少問題の解消・地方創生を推進する拠点として充実を図っていきたい。

実施体制の現状は。
教育次長 休校期間が短く、オンライン授業は実施しなかった。家庭でのオンライン環境は88軒が整備され、実態に応じて実施できる状況である。
議員 葛巻病院周辺の町道などの凍結や落雪への事故防止対策は。
町長 町内全域で路面凍結箇所の事故防止対策に努めてきた。指摘された道路でも、融雪剤の散布

併せて「交通結節点」の移行・充実について、民間バス事業者をはじめ、関係機関と調整を図っていく。
議員 待ちスペースの充実、天候の急変や寒い時期では重要と考える。負担軽減についての考えを伺う。
町長 現在の中心市街地に不足している駐車場や駐輪スペースの確保のほか、バス運行時間と連動した待合スペースの確保を含め、くずまき型DMO事業で推進する「歩きまわりたくなる『まちなか』」の起点終点としての機能、あるいは、まちなかのにぎわい創出など、町の最重要課題である人口減少問題の解消・地方創生を推進する拠点として充実を図っていきたい。

併せて「交通結節点」の移行・充実について、民間バス事業者をはじめ、関係機関と調整を図っていく。
議員 待ちスペースの充実、天候の急変や寒い時期では重要と考える。負担軽減についての考えを伺う。
町長 現在の中心市街地に不足している駐車場や駐輪スペースの確保のほか、バス運行時間と連動した待合スペースの確保を含め、くずまき型DMO事業で推進する「歩きまわりたくなる『まちなか』」の起点終点としての機能、あるいは、まちなかのにぎわい創出など、町の最重要課題である人口減少問題の解消・地方創生を推進する拠点として充実を図っていきたい。

併せて「交通結節点」の移行・充実について、民間バス事業者をはじめ、関係機関と調整を図っていく。
議員 待ちスペースの充実、天候の急変や寒い時期では重要と考える。負担軽減についての考えを伺う。
町長 現在の中心市街地に不足している駐車場や駐輪スペースの確保のほか、バス運行時間と連動した待合スペースの確保を含め、くずまき型DMO事業で推進する「歩きまわりたくなる『まちなか』」の起点終点としての機能、あるいは、まちなかのにぎわい創出など、町の最重要課題である人口減少問題の解消・地方創生を推進する拠点として充実を図っていきたい。



やまざき ひろと 山崎 邦廣 議員

問 交通結節点の利便性向上を伺う

答 新庁舎のハブ機能で課題解決を推進

議員 交通の乗換えや交通と公共施設への用向きとの円滑な接続について伺う。
町長 町内のバスの状況は、民間事業者では、JRバス東北が「白樺号」「田部線」「大平橋線」、岩手県北バスが「葛巻線」の4路線が運行している。また、町が直営で運行する「通院バス」が、公共交通機関として町内各地域と町中心部を繋ぐ役割を担っているほか、学区内と小・中学校を結ぶ「スクールバス」や近隣市町村から葛巻高校への通学、公営学習塾からの帰宅を支援する車両運行も行っている。
民間バス4路線は、JRバス葛巻駅が結節点となり、町内外へのアクセス拠点として、長年により活用されてきた。

また、駅舎の管理がJRバス東北から町へ移管された後も、産直施設「まちの駅」やレストランの入居など施設機能の維持・充実をはじめ、中心市街地のにぎわい創出の拠点として活用を図ってきた。
議員 課題解決の取組
町長 駅舎では、休日・夜間などの待合室やトイレの利用のほか、駅舎の段差解消、駐車スペースの確保など、利便性の課題解決の必要も生じている。現在、行政・交流・商工・金融・防災・医療の機能を集約した、新たな「まちの拠点」として「新庁舎」を整備しているところであり、交通結節点の課題や町の事業推進との連携の観点から「新庁舎」に地域と中心市街地を結ぶ「ハブ機能」を付加することでコンパクトシティを実現する「新たなまちづくり」を形成していきたい。

また、駅舎の管理がJRバス東北から町へ移管された後も、産直施設「まちの駅」やレストランの入居など施設機能の維持・充実をはじめ、中心市街地のにぎわい創出の拠点として活用を図ってきた。
議員 課題解決の取組
町長 駅舎では、休日・夜間などの待合室やトイレの利用のほか、駅舎の段差解消、駐車スペースの確保など、利便性の課題解決の必要も生じている。現在、行政・交流・商工・金融・防災・医療の機能を集約した、新たな「まちの拠点」として「新庁舎」を整備しているところであり、交通結節点の課題や町の事業推進との連携の観点から「新庁舎」に地域と中心市街地を結ぶ「ハブ機能」を付加することでコンパクトシティを実現する「新たなまちづくり」を形成していきたい。



ハブ機能が期待される工事中の新庁舎 (中央)

併せて「交通結節点」の移行・充実について、民間バス事業者をはじめ、関係機関と調整を図っていく。
議員 待ちスペースの充実、天候の急変や寒い時期では重要と考える。負担軽減についての考えを伺う。
町長 現在の中心市街地に不足している駐車場や駐輪スペースの確保のほか、バス運行時間と連動した待合スペースの確保を含め、くずまき型DMO事業で推進する「歩きまわりたくなる『まちなか』」の起点終点としての機能、あるいは、まちなかのにぎわい創出など、町の最重要課題である人口減少問題の解消・地方創生を推進する拠点として充実を図っていきたい。

併せて「交通結節点」の移行・充実について、民間バス事業者をはじめ、関係機関と調整を図っていく。
議員 待ちスペースの充実、天候の急変や寒い時期では重要と考える。負担軽減についての考えを伺う。
町長 現在の中心市街地に不足している駐車場や駐輪スペースの確保のほか、バス運行時間と連動した待合スペースの確保を含め、くずまき型DMO事業で推進する「歩きまわりたくなる『まちなか』」の起点終点としての機能、あるいは、まちなかのにぎわい創出など、町の最重要課題である人口減少問題の解消・地方創生を推進する拠点として充実を図っていきたい。

併せて「交通結節点」の移行・充実について、民間バス事業者をはじめ、関係機関と調整を図っていく。
議員 待ちスペースの充実、天候の急変や寒い時期では重要と考える。負担軽減についての考えを伺う。
町長 現在の中心市街地に不足している駐車場や駐輪スペースの確保のほか、バス運行時間と連動した待合スペースの確保を含め、くずまき型DMO事業で推進する「歩きまわりたくなる『まちなか』」の起点終点としての機能、あるいは、まちなかのにぎわい創出など、町の最重要課題である人口減少問題の解消・地方創生を推進する拠点として充実を図っていきたい。